

## 批判的思考に関する VALUE ルーブリック

詳細は、[value@aacu.org](mailto:value@aacu.org) を参照



VALUE ルーブリックは、全米の大学を代表する専門教職員が、学習の成果に関する各大学のルーブリックや関連文書を調査し、教職員からのフィードバックを参考にして作成されたものである。このルーブリックは、段階的達成レベルを示す能力指標により、各学習成果の原則的な基準を示すものである。このルーブリックは、各大学が学生の学習を評価し考察する目的で使用されるものであり、成績をつけるために使用するものではない。この 15 の VALUE ルーブリックに示された学生に期待される能力に関しては、各大学、専門分野、コースに応じて、それぞれの解釈が可能である。VALUE ルーブリックは、学生の成果に関し共通の手段と理解を共有することで、すべての学部レベルの機関での学生の学習を、一つの基本的な期待レベルの枠組みの中で位置づけるためのものである。

### 定義

批判的思考とは、問題、考え方、事実、人工的事物、事柄に関し、受け入れたり意見や結論を述べたりする前に、総合的に調査しようとする思考法のことである。

### 概要

このルーブリックは、すべての分野において、成功するためには、批判的思考と共通の特質を有する、探求と分析の思考法が必要であるという認識を踏まえ、様々な専門分野で使用できるように作成されている。また、研究によれば、あらゆる分野において、批判的思考ができる者は、生活における様々な状況や変化する状況で、この思考法を応用できなければならないと示唆されている。

このルーブリックは、多くの種類の課題で使用できるように作成されており、ここに述べられている事項だけがすべてではない。批判的思考力は、学生が、文章、データ、問題を分析しなければならない課題において示されるものである。分野によっては、プレゼンテーションの範囲を超える課題において特に有用かもしれない。批判的思考の段階的な要素（成果物に含まれているかどうかに関わらず、情報源をどのように評価しているかなど）に関する洞察が重要である場合は、学生の反省に焦点を絞った課題が特に有効かもしれない。

### 用語

下記は、このルーブリックにのみ適用される用語と概念の定義である。

曖昧さ	何通りかの方法で解釈できる情報
仮定	「証拠なしで当然真実として認められたり受け入れられたりする」考え方、条件、信念（暗黙で述べられていない場合が多い ( <a href="http://www.dictionary.reference.com/browse/assumptions">www.dictionary.reference.com/browse/assumptions</a> から引用)
背景	問題、考え方、人工的事物、事柄に影響を与え複雑にするような、歴史的、倫理的、政治的、文化的、環境的、状況的な設定や条件
文字通りの意味	情報を述べられている通りに解釈すること、例えば「彼女はひどく妬んでいる (green with envy)」を肌が緑色だと解釈すること
比喩	文字通りに解釈しない（解釈しないよう意図された）情報、例えば「彼女はひどく妬んでいる (green with envy)」は、肌の色ではなく感情の強さを示す。

# 批判的思考に関する VALUE ルーブリック

詳細は、[value@aacu.org](mailto:value@aacu.org) を参照



## 定義

批判的思考とは、問題、考え方、事実、人工的事物、事柄に関し、受け入れたり意見や結論を述べたりする前に、総合的に調査しようとする思考法のことである。

単独の課題、または複数の課題を総合して、ベンチマーク（基準 1）に達しない場合は、0点と採点することを推奨する。

	最終基準	中間基準		ベンチマーク
	4	3	2	1
問題の説明	批判的に考えるべき問題点を明確に述べ総合的に説明し、十分な理解に必要なすべての関連情報を提供する。	批判的に考えるべき問題点を述べ、説明し、明確にし、情報を省くことで理解が阻害されないようにする。	批判的に考えるべき問題点を述べるが、用語の定義が不十分、曖昧な点が未確認、境界が不定、背景が不明である。	批判的に考えるべき問題点を述べるが、明確にされず説明もない。
エビデンス 見解や結論を調査するため 情報を選択して使用	十分に解釈、評価された情報源から情報を得、総合的に分析や統合を行う。専門家の意見は十分に見直しをする。	十分に解釈、評価された情報源から情報を得、一貫した分析や統合を行う。専門家の意見は見直しをする。	ある程度解釈、評価された情報源から情報を得ているが、一貫した分析や統合を行っていない。専門家の意見は事実とみなし、ほとんど見直しを行わない。	解釈、評価されていない情報源から情報を得ている。専門家の意見は疑問視せず事実とみなす。
背景や仮定の 影響	自分や他の人の仮定を完全に（体系的、方法論的に）分析し、立場を表明する際は、背景の関連を注意深く評価する。	立場を表明する際は、自分や他の人の仮定や、いくつかの関連する背景を確認する。	いくつかの仮定に疑問を呈する。立場を表明する際は、いくつかの関連する背景を確認する。自分の仮定よりも他の人の仮定を考慮する（またはその逆）。	現在の仮定に対し考慮するようになる（時として、主張を仮定とみなす）。立場を表明する際は、いくつかの関連する背景を確認し始める。
学生の立場（見 解・主張・仮説）	問題点の複雑さを考慮した想像力に富んだ特定の立場（見解、主張、仮説）をとる。立場（見解、主張、仮説）の限界を認識する。他の人の見解を自己の立場（見解、主張、仮説）に統合する。	問題点の複雑さを考慮した特定の立場（見解、主張、仮説）をとる。他の人の見解を自己の立場（見解、主張、仮説）に受け入れる。	問題点の様々な側面を認識し特定の立場（見解、主張、仮説）をとる。	特定の立場（見解、主張、仮説）をとるが、単純で明らかなものである。
結論と関連する 結果（推測と 論理的結論）	結論や関連する結果（推測と論理的結論）は、論理的で、情報に基づく評価、エビデンスの提示能力、優先順位に従った見解などを反映している。	結論は一定範囲の情報と論理的に結びき、対立する見解も考慮に入っている。関連する結果（推測と論理的結論）を明確に確認している。	結論は情報と論理的に結びついて（望ましい結論にある情報を選択しているため）。いくつかの関連する結果（推測と論理的結論）を明確に確認している。	結論はいくつかの情報と矛盾している。関連する結果（推測と論理的結論）は、過度に単純化されている。